

生徒の作文から

延長に次ぐ延長で長引く今回の休校期間中に、生徒のみなさんが時間をかけて書いた作文「2年生に進級して」を読ませていただきました。いま抱えている不安やストレスに負けずに、夢や目標を持って頑張っていきたいという気持ちがひしひしと伝わってくるものばかりでした。お子様方はまだ子どもとはいっても中学2年生。私たち大人が思っている以上に、自分の夢や目標のこと、家族のこと、もちろん友達や学校のこと、そして世の中で起きていることについてそれぞれが真剣に考えていることがわかり、とても感心しました。今回はその中からいくつかを部分的に抜粋して（生徒の表現どおり）紹介します。

・僕は先ぱいになったので、一年生のお手本になりたいです。僕ははじめをつけてかっこいい先ぱいになればよいなと思います。（中略）○組を明るくて元気なクラスにするために、一年生の時に○○先生（当時の担任）に教えてもらったことをみんなに伝えていけたらいいなと思います。（Aさん）

・私は一年生の時からずっと楽しみにしていた「宮っ子チャレンジ」という行事が無くなってしまいました。でも、行事が無くなってしまって残念だと思っているのは皆同じだと思います。いろいろな行事が無いからこそ、友達と絆を深めたりできるので一年生の時よりも楽しい学校生活になると私は思います。（Fさん）

・頑張りたいことの三つ目は、生活面をしっかりとやっていくことです。例えば、挨拶や返事、授業態度、生活態度です。挨拶や返事は一年生のときは自分からしなかったり、声が小さかったりしていたので、二年生からはもっと心がけて生活していきたいです。（Hさん）

・僕は二年生になってがんばりたいことが四つあります。（中略）三つ目は、人がよろこぶようなことをすることです。僕は休校中に中庭のそうじをしたり、へいをペンキで塗ったりしました。（中略）どちらも大変でしたが、きれいになって、親もよろこんでいたので良かったです。さらに、休校中に僕は家事を毎日やって、たまに、夜ご飯をつくるのを手伝ったりしています。（Hさん）

・最後にこれからの生き方について考えました。それは何事にも目標を持って生きていくことです。今回のように急に今まで予想していた生活が一変してしまうこともこれからあるかもしれません。でも、どんな時でも自分で目標を見つけて、小さな目標も大きな目標も達成できるよう努力していける人になりたいです。（Hさん）

・私がこれからがんばりたいことは二つあります。まず、持続をしていくということです。（中略）次に、何事にも一生懸命に取り組むということです。（Kさん）

・新型コロナウイルスにより突然の臨時休校となってしまう、私はあたり前の日常がとても幸せであったと気付きました。（Kさん）

・これから、コロナウィルスがおさまり学校が再開されるまで家で二年生の予習や良い先輩になれるように自分をみつめ直すなどして学校再開のために準備しながらコロナウィルスについてニュースなどを見てよく知っておきたいと思います。また、二年生になったので、この先の進路、将来の夢など自分のやりたい事をよく考えながら、職業についても調べられるといいなと思います。(Nさん)

・私たちは不要不急の外出を控えているので感染するリスクは低いかもしれませんが、働いている方々は外出をせざるを得ないので毎日恐怖と戦っています。「自分が感染したら家族も感染してしまうかもしれない」と、毎日大変だと思います。そのため私たちが感謝の意味も込めて、不要不急の外出を控えることが私たちの出来ることの一つです。今は、この状況が早く終息することが私の願いです。(Nさん)

・家にこもってるばかりじゃ体がくずれたりするので毎日30分は外の空気を吸って庭で体を動かしたいと思います。勉強もおろそかになってきているので、勉強時間を決めて行きたいです。でも、なかなかやる気が出ないので、一番は世界が笑顔になることを願って、早く学校が再開することを祈りたいです。(Oさん)

・〇組を、学校一カッコイイと思われるようなクラスにすることです。(中略)自分が、みんなのためになる、と思ったら、すぐに行動して、〇組を思いやりいっぱいでもできる、学校一のカッコイイクラスにしていけたらなと思います。(Sさん)

・二年生になって、さあこれから勉強も〇〇〇(部活動名)もさらに一生懸命やろうと思っていた矢先に新型コロナウイルスによる感染が広まってしまい、今は学校にも行けず、大好きな〇〇〇(部活動名)もできないので、さみしい思いをしています。本来ならば今頃〇〇〇(部活動名)の練習を夢中になっているはずでしたが、(中略)今は、早く練習したいなと毎日思っています。(Tさん)

残された休校期間中、学校から出されている学習課題に取り組むことはもちろん大切なことで、保護者の皆様からお子様に励ましの言葉をかけていただきたいところです。課題はやってもやらなくてもよいものではなく、必ずやらなくてはいけないものだということを教えてください。ただ、毎日の生活の中では、出された学習課題に取り組むこと以外にも大切なことはたくさんあります。いま世の中で起こっていることを広く知ること、自分の将来について(漠然とでもよいので)考えたりイメージすること、家族のために手伝いをする、たくさん読書をする、自然の生き物(家の近くにいる生物で十分)や星空にもっと目を向けてみる、ある意味、休校中はお子様の自由な時間が比較的多いと思います。その貴重な時間をどのように過ごしていくか(過ごさせていくのか)について、いま一度お子様と一緒に語り合いながら考えさせていただければと思います。休校期間が3か月間になったからといって、すべてのお子様の寿命が3か月伸びるというわけではありません。あと約2週間の休校期間が、私たちにとって「時間」は限られたものだということを身を持って学ぶ一つのきっかけにもなることを願っています。